

滋賀県立琵琶湖博物館における新水槽整備について

環境・農水常任委員会資料 8
令和6年(2024年)10月4日(金)
環境政策課・琵琶湖博物館

1 概要

令和5年2月10日に破損したビワコオオナマズ水槽および同水槽と同型であったコアユ水槽を新しく整備する。

2 主な経過および今後の予定

令和5年2月10日 ビワコオオナマズ水槽が破損

3月2日 ふれあい水槽が破損

※すべての水槽を点検した結果、破損した水槽を含め13水槽で修繕等が必要となる。

令和6年4月23日 修繕を終えたトンネル水槽を含む計4水槽の展示再開

6月25日 修繕を終えた計6水槽の展示再開

6月30日 ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽の設計完了

8月16日 ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽の工事契約締結

令和7年3月31日 ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽の工事完了(予定)

5月上旬 ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽の展示再開(予定)



破損前のビワコオオナマズ水槽

3 全体工事費用
(単位：千円)

対応	トンネル水槽、他9水槽			ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽		
	アクリル交換			水槽新設		
費用	設計	工事	計	設計	工事	計
令和5年度	—	66,191	66,191	26,950	—	26,950
令和6年度	—	—	—	(繰越)	185,900	185,900
計	—	66,191	66,191	26,950	185,900	212,850

4 支援金額
(単位：千円)

	トンネル水槽、他9水槽 (決算額)	ビワコオオナマズ水槽、コアユ水槽 (予算額)
クラウドファンディング	11,593	20,000
水族展示再生支援寄附	12,045	20,000
合計	23,638	40,000

(参考) クラウドファンディング 第1弾：令和5年11月15日～令和6年 1月31日
第2弾：令和6年 8月28日～令和6年11月25日



クラウドファンディング第1弾

ビワコオオナマズ水槽

基本的に、破損以前の水槽コンセプトと同じく、湖の岩場にたたずむ「琵琶湖のヌシ」の雰囲気を感じることができる水槽としている。

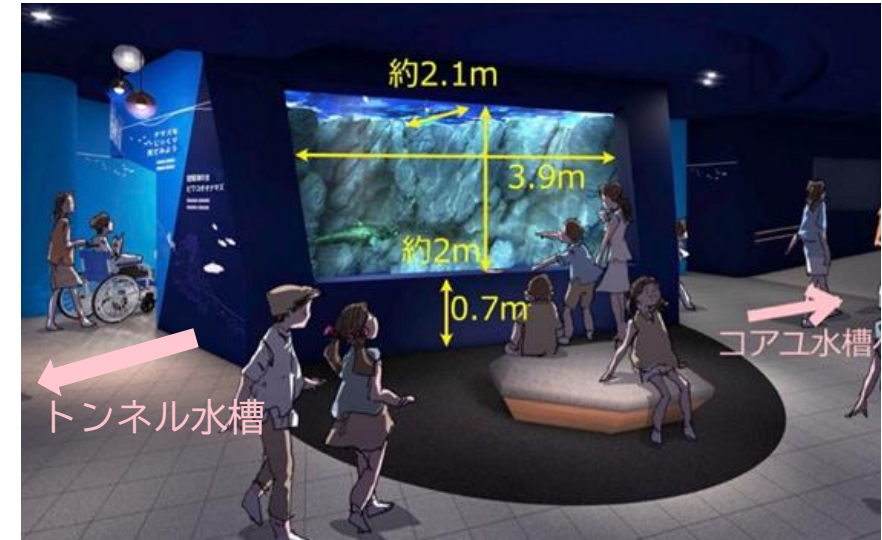


ナマズをおなか側から観察できるように水槽を上配置し、下から見上げるスタイルとなっている。上部に3つの水槽があり、異なる種類のナマズを置くことで、その違いを観察できるようにする。



トンネル水槽

順路どおりにトンネル水槽から来た時に見える水槽正面

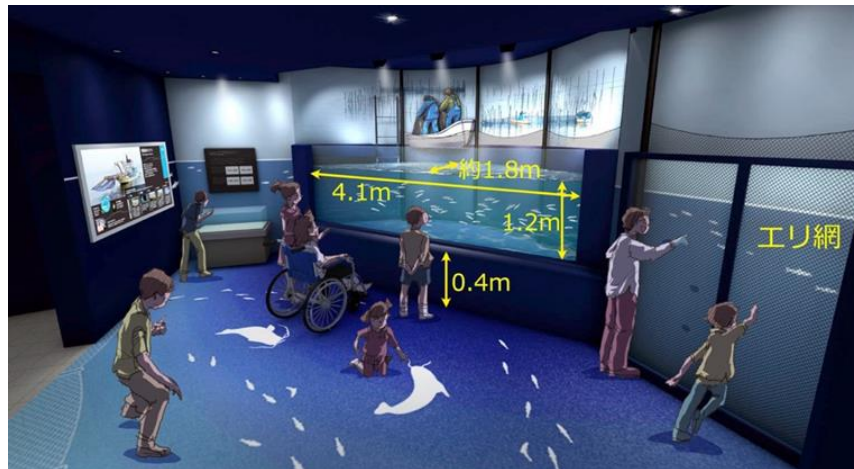


トンネル水槽

コアユ水槽

コアユ水槽

人との関係、特に漁業との関係を強く意識した展示（エリ漁をイメージ）で、水産の情報発信の展示としても機能する。



エリ網

(参考) クラウドファンディング第2弾



←クラウドファンディングはこちらから

西川貴教さんからの応援メッセージ



さかなこうじさんからの応援メッセージ



湖上交通を利用した連携事業（びわ博クルーズ）

おごと温泉観光協会及び㈱空兵衛造船所と連携し、ご家族の旅行者を主な対象とし、県内周遊の新たなメニューとして、また、夏休み期間の学びの場として博物館を利用いただくため、湖上交通を活用した体験型の観光・環境学習連携事業を夏季限定で実施しました。（乗船定員：大人50名）



【実績】

7月28日（日）	19名
8月4日（日）	22名
11日（日）	52名
12日（月・祝）	58名
18日（日）	50名
25日（日）	32名

計 233名

【参加した方の声】

- ・湖西に住んでおり、琵琶湖を眺めながら船で横断できればいいと思っていた。この価格なら定期的に利用したい。
- ・安価で屋形船に乗れて良かった。子どもの夏休みの体験にちょうど良かった。
- ・学芸員から事前に会議室で説明を受けて楽しむのが良かった。
- ・天気が良く、リーズナブルで良い景色と博物館の展示がセットでお得感があった。
- ・博物館を見る時間をもっと増やしてほしい。
- ・クルーズ船の乗船時間がちょうどよく、琵琶湖博物館へのアクセスもよくいいプランだった。



アユモドキ展示

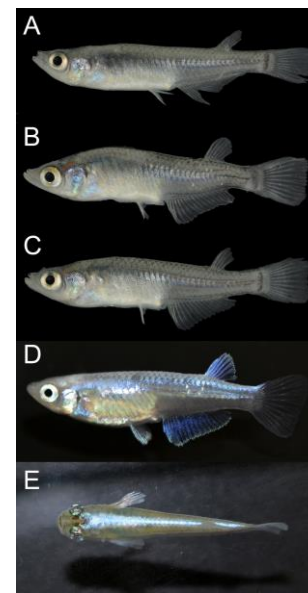
伊藤忠商事㈱の支援を受け、国指定の天然記念物で保護されているアユモドキの人工繁殖に7年ぶりに成功しました。（展示期間：9/14（土）～12/24（火））



野生下での改良メダカの発見

人工改良品種である観賞魚メダカの野外への放流は、交雑により野生メダカへの遺伝的攪乱を起こすなど、「第3の外来種」として生物多様性にとって大きな脅威とされています。

滋賀県大津市の池と琵琶湖南湖の湖岸で体外光メダカなどの観賞魚メダカが採集され、本博物館の学芸員が龍谷大学の研究員らと共同で、標本に基づいて記録した滋賀県初の報告を発表しました。



イナズマロックフェスでのブース出展

琵琶湖博物館のPRを目的として、湖魚や鳥の模型の展示や化石を触るなどの体験を実施しました。

